



小樽双葉進路だより

進路指導部

令和6年5月29日

第8号 発行

国立大学と私立大学の違い

今回は、国公立大学と私立大学の違いを、身近な例を使ってわかりやすく説明します。

【国公立大学とは】

- ・国(国立)や県・市(公立)が運営する大学のこと
- ・例えば、誰もが自由に安全に利用できる公園みたいなもの
- ・国からの運営費交付金により、一定の研究費が確保されている
- ・科学研究費補助金など、国の競争的研究資金を受けやすい
- ・大型の共同利用・共同研究拠点が設置されやすい
- ・公立の小中学校と同じように、税金で運営されている
- ・授業料が比較的安い!

授業料に関していうと、例えば、小樽商科大学(国立)の年間授業料は約 53 万円(2024 年度)。身近で安心できる金額ですね。

【私立大学とは】

- ・民間の学校法人が経営する大学のこと
- ・例えば、きれいで快適な環境が整っている有料の遊園地みたいなもの
- ・私学助成などの国からの支援はあるが、研究費は主に学生の授業料収入に依存
- ・企業からの受託研究費や寄付金で研究費を賄う部分が多い
- ・科研費などの外部資金獲得が厳しい環境にある
- ・みなさんが通う私立の学校みたいに、授業料(学費)で運営されている
- ・授業料が高め

例えば、北星学園大学(私立)は約 120 万円(2024 年度)。家計への大きな負担になりそうですね。

このように国公立と私立では特徴が全く違うので、

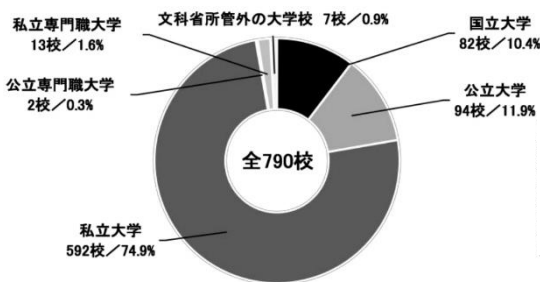
- 自分に合った教育方針か
- 通学時間は大丈夫か
- 設備や環境が整っているか

など、よく比べて検討する必要があります。夢をかなえる大学選びは人生の大切な選択。

今からじっくり考えて、ぴったりの大学を見つけましょう!

【データで見る国公立大学と私立大学の違い】

① 大学数



2022年度のデータでは、日本全国の大学790校のうち、国立大学は82校、公立大学94校、私立大学は592校となっており、大学の大半は私立大学だということがわかりますね。

② 大学4年間にかかる費用

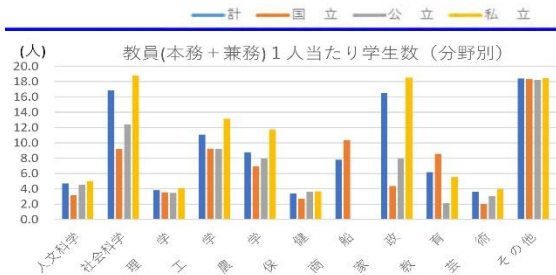
大学種別	4年間にかかる費用
国公立大学(全学部共通)	2,425,200 円
私立大学(文科系)	3,553,121 円
私立大学(理科系)	4,900,327 円
私立大学(医歯薬系)※6年間	19,142,388 円

授業料等の費用は、やはり国公立大学がずいぶん安いですね。とくに、理科系や医歯薬系では国公立大学の安さが際立ちます。

文部科学省「令和元年度 私立大学等入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)の調査結果について」

「私立大学等の平成30年度入学者に係る学生納付金等調査結果について」

③ 教員一人当たりの学生数(文科省会議資料 <https://www.mext.go.jp/kaisyo/content/00013283.pdf> 参照)



学問分野で違いますが、概ね国立大が私立大より教員一人あたりの学生数が少ないです。国公立大の方が教員と学生の距離が近いと言えます。

④ 国から支給される研究費(「令和3年度科学研究費助成事業の配分について」より)

大学種別	支給研究費	割合
国立大	1,372 億円	62%
公立大	122 億円	5.5%
私立大	441 億円	22%
総 額	2,212 億円	100%

大学数で言えば全体の10%しかない国立大に、全体の62%の研究費が支給されています。研究費が多いということは、研究環境が整っているということです。ちなみに、支給額上位10大学は国立大で、11位に慶応大 12位に早稲田大が入ってきます。私立大でも超有名大には多額の研究費が支給されているんですね。

支給額上位10大学は国立大で、11位に慶応大 12位に早稲田大が入ってきます。私立大でも超有名大には多額の研究費が支給されているんですね。